



国際結婚：
アメリカとカナダ
に住む
日本人女性の視点



Michiko Iwasaki, Ph.D.

岩崎美智子

Loyola University Maryland

ロヨラ大学、メリーランド校

アンケート調査：議事

- A. 米国とカナダにおける異人種間結婚の背景
- B. 国際結婚アンケート調査：目的と方法
- C. アンケート調査結果
- D. まとめ：幸せな国際結婚へ向かって



<http://therealsingapore.com/content/why-white-men-marry-asian-women-and-asian-men-dont-marry-white-women>



アンケート調査の背景

米国とカナダでの異人種間結婚と離婚

- **アメリカとカナダでの異人種間結婚の増加**
 - アメリカ：1980年から2010年間で2倍以上増加
 - カナダ：2001-2006年で33%の増加
 - **日本人/日系人**：両国共に異人種間結婚は日本人・日系人女性に特に多い。
 - **離婚率**：全体的には異人種間離婚率は一般の離婚率よりも高い

From PewResearch Center, February 16, 2012; Statistics Canada, 2010; National Household Survey, 2006)

+ アンケート調査：目的

- ハーグ条約への加盟：2014年4月1日
- アメリカとカナダに住む日本人の国際結婚の実態調査
 - 結婚満足度、ストレスの要因（子育て、人種差別、老後、介護）、問題解決方、離婚、ハーグ条約についてなど
- 今後の国際結婚をされている方の支援対策のために
- アンケート調査支援
 - JASMENT NY, Tokyo, and Canada
 - Loyola University Maryland



LOYOLA
UNIVERSITY MARYLAND

+ アンケート調査：方法

- **対象者**— アメリカかカナダでお住まいの日本人で、公的な市民権に関わらず
 - 現在または過去に、国際結婚の経験がある。
 - 現在または過去に日本人以外の方と婚約経験がある。
- **方法**— インターネットでの質問表
 - 約10-15分
 - 2013年：10月6日-12月31日





アンケート調査結果 回答者

- **総回答者数: N=778人**
 - USA = 510人 : 女性=474人 (男性=34人)
 - Canada = 267人 : 女性=257人(男性=10人)
- **今回の統計結果 : N = 731 人**
 - 男性の回答者が少なかったため、**女性で1年以上の結婚経験のある人**を対象に統計。

日本女性回答者

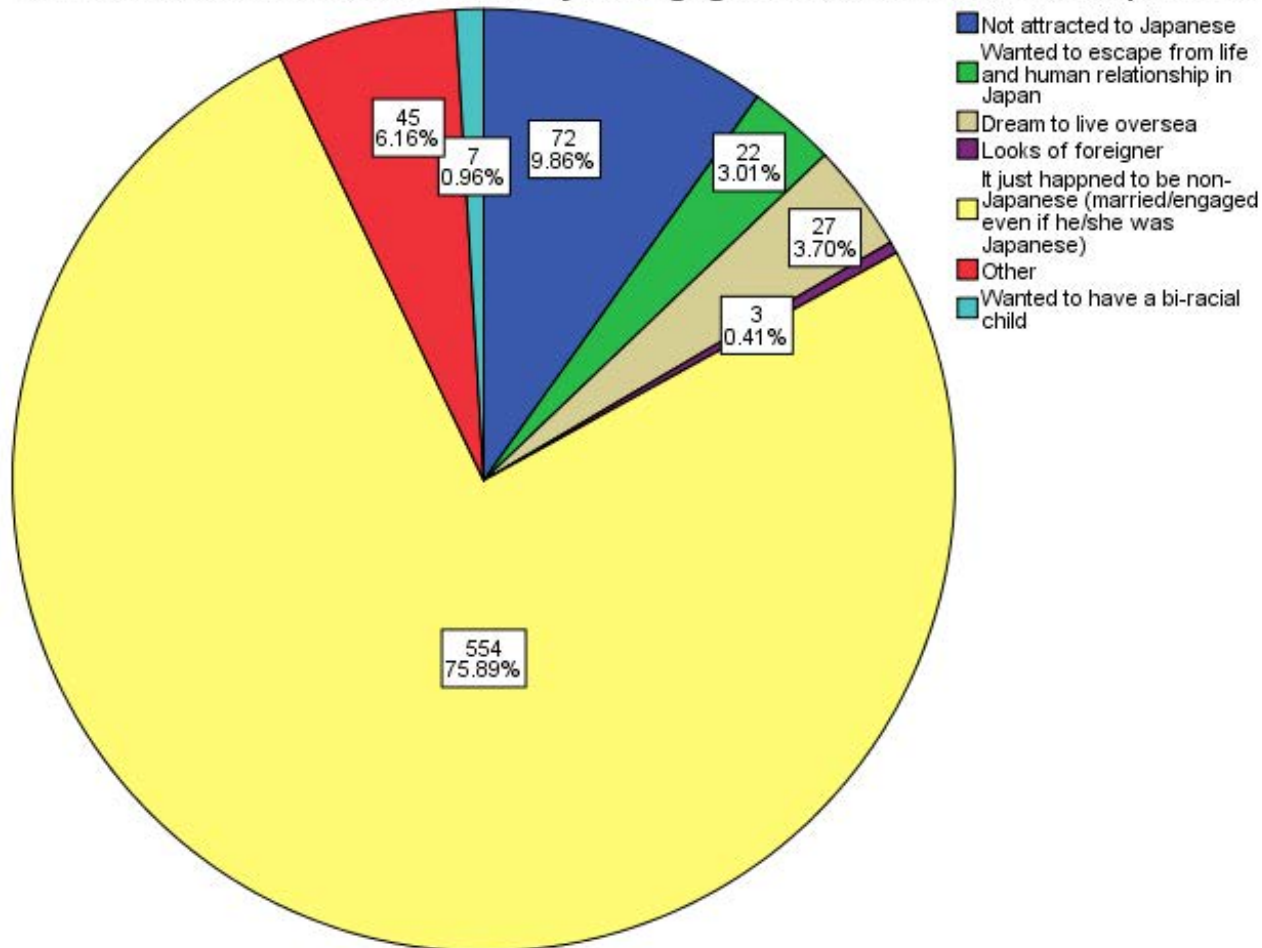
■ 日本女性回答者： 731人

	アメリカ (474人)	カナダ (257人)
年齢	46 (9.6)	41 (8.0)
滞在期間	18年 (9.8)	11年 (7.4)
日本国籍	84%	94%
フルタイム雇用	41%	25%
英語力 (読み書き問題なし)	51%	40%
平均結婚歴	16年 (1-55年) (9.7)	11年 (1-36年) (6.5)
配偶者の人種	白人=75%	白人= 76%
知り合ったきっかけ :	友人の紹介=29% インターネット= 6.3%	友人の紹介=32% インターネット= 6.5%

なぜ国際結婚？

■ 決め手になった主な理由： **N=731**

C1. What's the main reason to marry or engage someone who is non-Japanese?



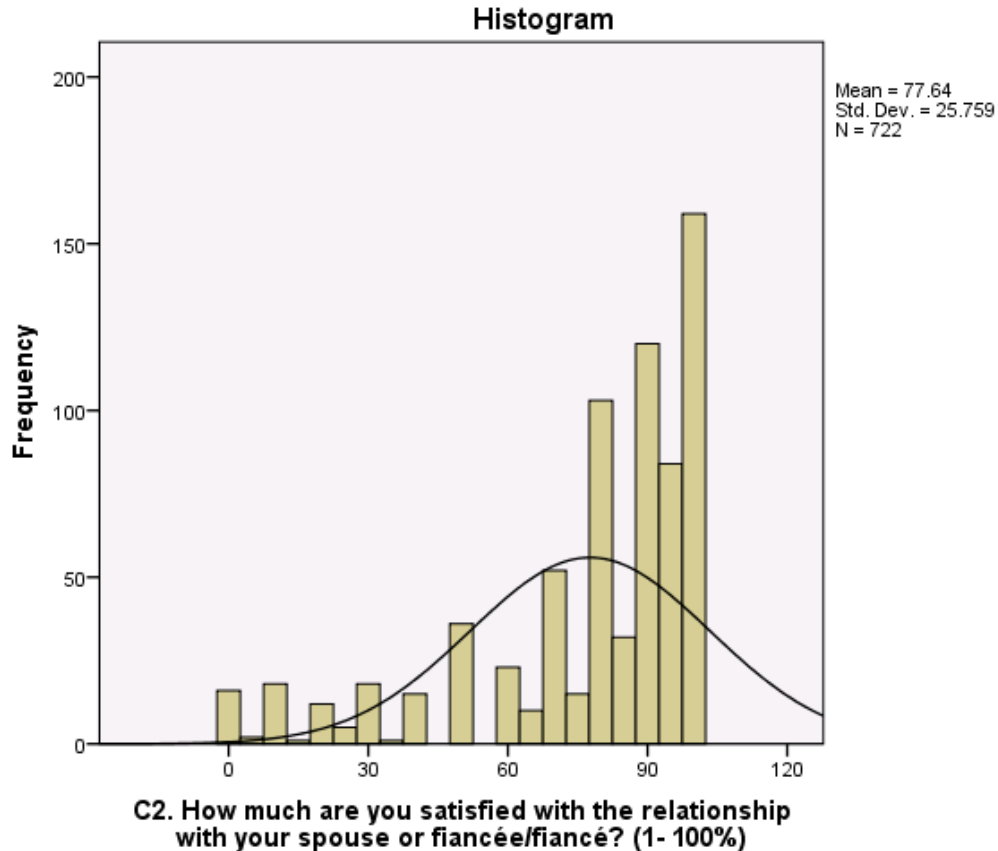


国際結婚満足度

■ 配偶者との関係の満足度

約70%の人は結婚満足度=75%以上

■ 平均満足度は78% : 米国=76.5% ; 加国=80%



現在抱えている問題

- 現在頻繁に悩んでいる問題あり：35% (n=252)
どんな問題ですか？（重複回答有り）

	両国 (35%)	アメリカ (33%)	カナダ (38%)
老後の心配	42	48	33
親族との問題	40	39	42
性格の不一致	33	36	29
子育て	32	36	26
金銭的問題	30	28	34
コミュニケーションの問題	27	30	24
文化・生活習慣の違い	23	25	20
性的不一致	15	16	13
暴力・コントロール	10	11	7

- 異人種間差別の経験あり：91%
- どのような経験ですか？（重複回答あり）
（米国＝91%；加国＝92%）
- 日本と他のアジアの国をごちゃまぜにされた（78%；80%）
- 日本・アジア文化に対するステレオタイプ（45%；36%）
- 自分一人の時と外国人の配偶者・婚約者という時と周囲の態度や対応が異なる（36%；34%）
- あからさまに避けられてことがある（32%；25%）
- ホテル、レストラン、その他の店で不当なサービスを受けた（31%；23%）
- 日本人というので罵声をあびた（24%；16%）
- 性的ステレオタイプ（14%；14%）

人種差別配偶者の対応

- あなたが文化差別を経験した場合のあなたの配偶者の対応は？ N=668
 - いつも良く理解を示し、サポートしてくれる：67%
(68% ; 63%)
 - よく「考えすぎ」とか「気のせい」だとか言われる：14%
(13% ; 13%)
 - よく「そんな見方（人種差別をされたという見方）が悪い」とか反対に非難される：1.5%
(1% ; 2%)
 - その他：18% (18%;21%)
 - 例：関心を示さない、人種差別の現実を認めるだけ、話を聞くのみ

子育てについて

- 国際結婚間の子育ての経験（血縁関係に関わらず、**N=731 : 97%** が経験あり（97% ; 96%）
 - 日本語教育 : 87% （84%; 91%）
 - 子育ての役割分担 : 自分の割合（平均 = 8割; sd = 1.6）
 - 子育て平等主義（最終決議） = 79% （77%; 84%）
- 自分の子育ての役割増えるに連れて、子育て平等主義の関連性はなく、結婚満足度は下がる傾向にある





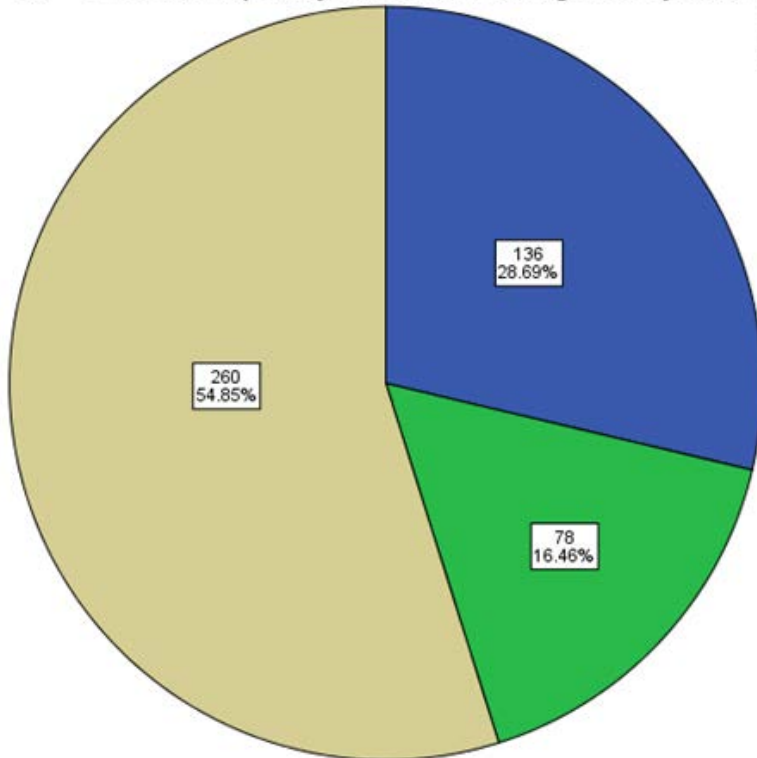
老後の住まい

■ 老後の住まい N = 731



E1. Choose one place you like to be during senior year and give your reasons.

■ US or Canada
■ Japan
■ Undecided



アメリカ・カナダ: 29% (29%; 29%)

1. 子供が居るから
2. 米国・加国の文化が自分あっている
3. 夫の希望に沿う

日本: 17% (17% ; 18%)

1. 日本の文化が自分にあっている
2. 夫が他界した後は米国・加国に未練はない。
3. 頼れる親戚や友だちがいるから。

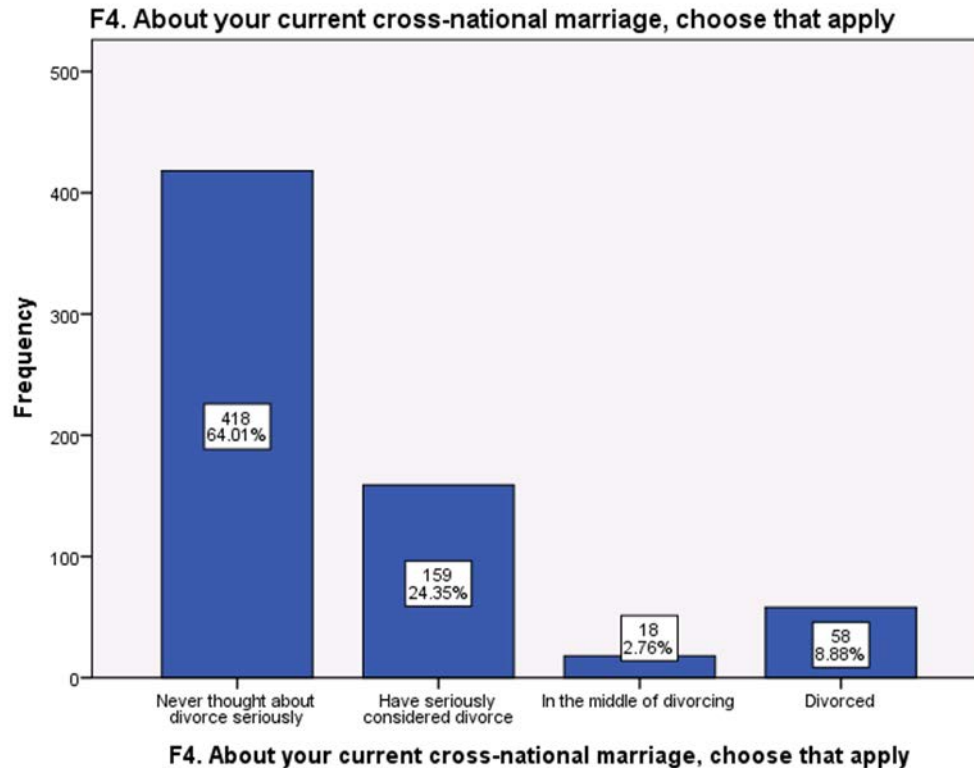
未定: 54% (55% ; 53%)

1. 老後まで、まだまだ時間があるから。
2. 現在検討中



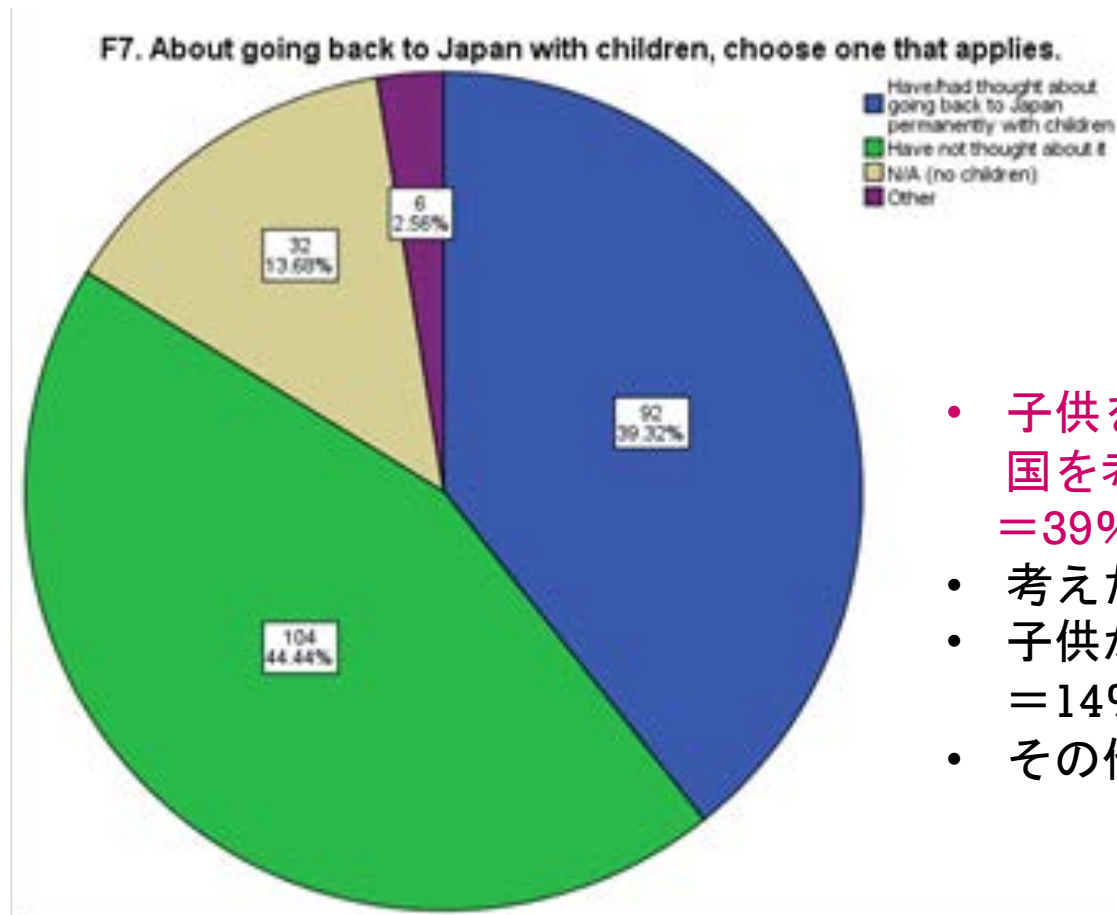
離婚について

■ 国際結婚間での離婚について



- N = 653 (米国 = 426 ; 加国 = 227)
- 離婚した : 9% (11% ; 5%)
 - 離婚の最中 : 3% (3% ; 2%)
 - 離婚について真剣に考えたことがある : 24% (23% ; 26%)
 - 離婚は考えた事はない : 64% (63% ; 66%)

■ 子供を連れての日本帰国について、N=235



- 子供を連れて日本への永住帰国を考えたことがある
=39% (ハーグ条約予備軍)
- 考えた事はない =44%
- 子供が居ないので該当しない
=14%
- その他 =3%

■ 国際結婚間・婚約間でのDVについて

	両国 N=731	米国 n=474	加国 n=257
経験がある	24% (177人)	26% (122人)	21% (55人)
経験はない	76% (554)	74% (352人)	79% (202人)

- 誰かに相談しましたか？ (重複回答あり)
- 誰にも相談しなかった=25% (25% ; 27%)
- 友人・知人に相談=57% (58% ; 53%)
- 親族に相談=25% (24% ; 29%)
- DV専門団体に相談=17% (20% ; 11%)
- 弁護士に相談=15% (16% ; 11%)
- 警察に相談=12% (13% ; 9%)
- 医者、メンタルヘルス専門家に相談した：10% (10% ; 9%)
- 大使館や領事館の相談=3% (3% ; 4%)



sisasebo.com

国際結婚満足度まとめ

■ 高度の満足感と関連が考えられる要因 (予備的分析結果より)

- 結婚歴7年以内
- 子供がいない
- 英語力がある
- 家計収入が多い
- 人種差別に対する夫からの理解度
- 子育て平等主義
- 性格：控えめで周囲の皆に合わせる性格
あんまり心配しなく、考えない性格



■ 幸せな国際結婚間を保つ3つの秘訣は？

1. コミュニケーション、
2. 親密さと精神的サポート、
3. 共通の価値観と時間